

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		基本設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
配慮項目										
Q 建築物の環境品質										2.8
Q1 室内環境							0.40		-	3.3
1 音環境						3.0	0.15	3.0	1.00	3.0
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音						3.0	0.50	3.0	0.50	
1 開口部遮音性能						3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能						3.0	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						3.0	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音						3.0	-	3.0	-	
2 温熱環境						2.4	0.35	3.2	1.00	3.0
2.1 室温制御						3.0	0.50	3.3	0.71	
1 室温		断熱性能等級4取得予定				3.0	0.63	3.0	0.63	
2 外皮性能						3.0	0.38	4.0	0.38	
3 ゾーン別制御性						3.0	-	-	-	
2.2 湿度制御						3.0	0.20	3.0	0.29	
2.3 空調方式						1.0	0.30	-	-	
3 光・視環境						3.0	0.25	3.7	1.00	3.5
3.1 昼光利用						4.2	0.30	4.6	0.30	
1 昼光率		共用部:昼光率≥2.5% 専有部:昼光率≥2.0%				5.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口		南面と東面にそれぞれ開口部がある				3.0	-	5.0	0.30	
3 昼光利用設備						3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策						2.0	0.30	4.0	0.30	
1 昼光制御		カーテン、庇にてグレアを制御				2.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度						3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御						3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境						3.6	0.25	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策						4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆をほぼ全面的に使用している				4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気						3.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量						3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能						3.0	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理						-	-	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視						-	-	-	-	
2 喫煙の制御						-	-	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.1
1 機能性						2.2	0.40	3.8	1.00	3.3
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性		1Gbpt以上				-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応						-	-	5.0	1.00	
3 バリアフリー計画						3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						1.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観						-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						-	-	-	-	
3 内装計画						1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理						2.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計						3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保						2.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.6	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		劣化対策等級3取得予定				5.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水:水道用高性能ポリエチレン管(B) 給水:水道用塩ビライニング鋼管(B) 排水管:硬質塩化ビニル管(B) Eは不使用				5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						2.2	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						1.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						2.0	0.20	-	-	
3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備						2.0	0.20	-	-	

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.0</b>	0.30	<b>2.8</b>	1.00	<b>2.8</b>
3.1 空間のゆとり							0.50
1 階高のゆとり					<b>3.0</b>		0.60
2 空間の形状・自由さ					<b>2.0</b>		0.40
3.2 荷重のゆとり			<b>3.0</b>		<b>3.0</b>		0.50
3.3 設備の更新性			<b>3.0</b>	1.00			
1 空調配管の更新性			<b>3.0</b>	0.20			
2 給排水管の更新性			<b>3.0</b>	0.20			
3 電気配線の更新性			<b>3.0</b>	0.10			
4 通信配線の更新性			<b>3.0</b>	0.10			
5 設備機器の更新性			<b>3.0</b>	0.20			
6 バックアップスペースの確保			<b>3.0</b>	0.20			
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.1</b>
1 生物環境の保全と創出			<b>1.0</b>	0.30			<b>1.0</b>
2 まちなみ・景観への配慮			<b>3.0</b>	0.40			<b>3.0</b>
3 地域性・アメニティへの配慮			<b>2.0</b>	0.30			<b>2.0</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			<b>2.0</b>	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上			<b>2.0</b>	0.50			
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>							<b>3.2</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>3.7</b>
1 建物外皮の熱負荷抑制		断熱性能等級4取得予定	<b>4.0</b>	0.20			<b>4.0</b>
2 自然エネルギー利用			<b>3.0</b>	0.10			<b>3.0</b>
3 設備システムの高効率化		BEI=非住宅 - 住宅(専用部)0.96	<b>4.0</b>	0.50			<b>4.0</b>
4 効率的運用			<b>3.0</b>	0.20			<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価							
4.1 モニタリング							
4.2 運用管理体制							
集合住宅の評価			<b>3.0</b>	1.00			
4.1 モニタリング			<b>3.0</b>	0.50			
4.2 運用管理体制			<b>3.0</b>	0.50			
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.9</b>
1 水資源保護			<b>3.4</b>	0.20			<b>3.4</b>
1.1 節水		節水コマに加えて、節湯型シャワー水栓を用いている	<b>4.0</b>	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			<b>3.0</b>	0.60			
1 雨水利用システム導入の有無			<b>3.0</b>	1.00			
2 雑排水等利用システム導入の有無			-	-			
2 非再生性資源の使用量削減			<b>2.7</b>	0.60			<b>2.7</b>
2.1 材料使用量の削減			<b>3.0</b>	0.10			
2.2 既存建築躯体等の継続使用			<b>3.0</b>	0.20			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	<b>3.0</b>	0.20			
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	<b>1.0</b>	0.20			
2.5 持続可能な森林から産出された木材			<b>2.0</b>	0.10			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体+LGS+仕上げ材	<b>4.0</b>	0.20			
3 汚染物質含有材料の使用回避			<b>3.1</b>	0.20			<b>3.1</b>
3.1 有害物質を含まない材料の使用		有害物質を含まない材料4種使用	<b>5.0</b>	0.30			
3.2 フロン・ハロンの回避			<b>2.3</b>	0.70			
1 消火剤			<b>1.0</b>	0.33			
2 発泡剤(断熱材等)			<b>3.0</b>	0.33			
3 冷媒			<b>3.0</b>	0.33			
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.0</b>
1 地球温暖化への配慮		LCCO2低減率19%	<b>3.7</b>	0.33			<b>3.7</b>
2 地域環境への配慮			<b>2.4</b>	0.33			<b>2.4</b>
2.1 大気汚染防止			<b>3.0</b>	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善			<b>2.0</b>	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			<b>2.7</b>	0.25			
1 雨水排水負荷低減		雨水貯留ピットの設置	<b>4.0</b>	0.25			
2 汚水処理負荷抑制			<b>3.0</b>	0.25			
3 交通負荷抑制			<b>3.0</b>	0.25			
4 廃棄物処理負荷抑制			<b>1.0</b>	0.25			
3 周辺環境への配慮			<b>3.0</b>	0.33			<b>3.0</b>
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			<b>3.0</b>	0.40			
1 騒音			<b>3.0</b>	0.33			
2 振動			<b>3.0</b>	0.33			
3 悪臭			<b>3.0</b>	0.33			
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			<b>3.0</b>	0.40			
1 風害の抑制			<b>3.0</b>	0.70			
2 砂塵の抑制							
3 日照阻害の抑制			<b>3.0</b>	0.30			
3.3 光害の抑制			<b>3.0</b>	0.20			
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			<b>3.0</b>	0.70			
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			<b>3.0</b>	0.30			